

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。
※ただし、4月17日に調査を実施していない学校については、4月18日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象生徒数		江戸川区立鹿本中学校	東京都（公立）	全国（公立）
		121	70,646	871,097

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体					
		15	47	53	48.3
学習指導要領の 領域	A 数と式	5	44.3	49.1	43.5
	B 図形	4	40.1	51.4	46.5
	C 関数	3	43.5	52.4	48.2
	D データの活用	3	61.7	63.1	58.6
評価の観点	知識・技能	9	52.2	58.3	54.4
	思考・判断・表現	6	37.9	45.4	39.1
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	3	50.7	58.2	54.0
	短答式	7	50.6	56.3	52.0
	記述式	5	38.2	45.7	39.6

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞

問題別集計結果		問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
問題番号				A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴校	東京都（公立）	全国（公立）	貴校	東京都（公立）	全国（公立）
1	1から9までの数の中から素数を全て選ぶ	素数の意味を理解しているかどうかをみる	1 (1) ア (7)					○			○		35.5	35.8	31.8	0.0	0.7	0.7	
2	果汁40%の飲み物a mLに含まれる果汁の量を、aを用いた式で表す	数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	1 (2) ア (x)					○			○		43.8	56.9	51.9	13.2	6.7	7.3	
3	△ABCにおいて、∠Aの大きさが50°のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる	2 (1) ア (4)					○			○		47.1	58.9	58.1	2.5	1.8	2.0	
4	一次関数y=6x+5について、xの増加量が2のときのyの増加量を求める	一次関数y=ax+bについて、変化の割合を基に、xの増加量に対するyの増加量を求めることができるかどうかをみる	2 (1) ア (7)					○			○		26.4	38.1	34.7	10.7	7.1	8.0	
5	ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、20m以上25m未満の階級の相対度数を求める	相対度数の意味を理解しているかどうかをみる					1 (1) ア (7)	○			○		47.1	47.6	42.5	9.9	8.5	9.4	
6 (1)	連続する二つの3の倍数の和が9の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その和を求める	事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる	2 (1) ア (2) イ (4)					○			○		72.7	67.5	62.8	4.1	3.8	4.6	
6 (2)	3nと3n+3の和を2(3n+1)+1と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であることを説明する	式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2 (1) イ (4)					○			○		26.4	32.7	25.7	34.7	21.3	24.9	
6 (3)	連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2 (1) イ (4)					○			○		43.0	52.5	45.2	19.0	15.3	20.2	
7 (1)	Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く	必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる	2 (2) ア (7)					○			○		81.0	81.1	77.4	5.0	2.8	3.2	
7 (2)	Aの手元のカードが「グー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「グー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2 (2) イ (4)					○			○		57.0	60.4	55.9	3.3	2.0	2.2	
8 (1)	A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離が分かるかを選ぶ	事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	1 (1) ア (7)					○			○		65.3	75.2	71.9	5.8	2.4	2.3	
8 (2)	A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる	1 (1) イ (4)					○			○		38.8	43.9	38.0	40.5	29.6	35.0	
9 (1)	四角形AECFが平行四辺形であることの証明を振り返り、新たに分かることを選ぶ	証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見い出すことができるかどうかをみる	2 (2) イ (4)					○			○		51.2	63.6	58.5	1.7	1.3	1.1	
9 (2)	平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取っても、四角形AECFは平行四辺形となることの証明を完成する	統合的・発展的に考え、条件を変えた場合において、証明を評価・改善することができるかどうかをみる	2 (2) イ (7)					○			○		36.4	44.0	36.3	9.1	6.9	7.2	
9 (3)	平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取り、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとしたとき、四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる	2 (2) イ (4)					○			○		25.6	39.1	33.2	38.0	27.9	31.5	